

CSR | 社会貢献活動

## 震災復興支援

### 復興支援事業と被災地への寄付・寄贈

#### ■ 陸前高田中心市街地復興計画を進行中

ジオ・アカマツでは、東日本大震災による津波のため壊滅的な被害を受けた陸前高田市などから、「まちなか再生計画」の策定業務を受託し、行政・商工会・市民・都市再生機構と一体となって、市街地再生を推進しています。新たな中心市街地の形成にあたり、商業や公共機能をコンパクトに集約することで、復興はもとより、持続可能な新たな街づくりに貢献しています。2016年4月には、商業施設「アバッセたかた」がオープンしました。



商業施設「アバッセたかた」がオープン

#### ■ 「復興応援販売会」を開催

NREG東芝不動産は、2016年9月、浜松町ビルディングで「復興応援販売会」を開催しました。当日は、青森・宮城・福島・熊本・岩手の5県の特産品を販売し、約2,600名が来場。復興を応援しました。



熊本など5県の特産品を販売

#### ■ 福島の親子のための保養キャンプに「かやぶきの里プロジェクト」のお米を寄贈

当社グループは、「かやぶきの里プロジェクト」で収穫したお米の一部を、福島県在住の親子のための保養キャンプに寄贈しています。東日本大震災以降、福島県の子どもたちは、屋外で遊ぶことを制限されています。このキャンプは、ボランティア団体「母ちゃんず」が、福島県在住の親子を神奈川県に招いて行うもので、自然の中で遊び、安全な食事をしてもらうことによって、心身の健康を回復してもらうことを目的として行われています。

#### ■ 古本の寄付を通じて東北の子どもたちの教育を支援

当社グループでは、2012年より公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの協力の下、社員から募った古本の売却費用を、東北の子どもたちの学校外教育費のために寄付しています。

東日本大震災以降、被災地では、経済格差により教育機会や学力の格差が生まれる傾向が強くなっており、この活動は、子どもたちがより平等な教育と成長の機会を得られるようになることを目的としています。2017年7月現在、約4,000冊の本が集まり、塾や習い事の費用として活用されています。

CSR | 社会貢献活動

## 青少年育成への取り組み

### 次世代育成に向けたプログラム

#### 「国連難民支援キャンペーン」を支援

野村不動産グループが管理・運営する「新宿野村ビル」「横浜ビジネスパーク」「日本橋室町野村ビル」「モリシア津田沼」「ポーノ相模大野」において、国連UNHCR協会が実施する「国連難民支援キャンペーン」を支援しました。

このキャンペーンは、支援者を募り、毎月「国連UNHCR協会」に寄付をしてもらうことで、難民のためのワクチンや居住用テントの購入を行うものです。

2016年度は、計28日間実施され、総支援者114名、総支援額年間329万円相当の寄付をいただきました。



感謝状を授与されました

#### かやぶきの里プロジェクト

野村不動産は、過疎化や少子高齢化が進む農村と都市生活者をつなぎ、都市部の子どもたちへの環境教育を行うことなどを目的として、筑波山麓において環境に優しい米づくりを行っています。

当プロジェクトは、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会、地元NPO法人、つくば市、筑波大学との産官民学共同プロジェクトで、米づくりには、野村不動産の社員とその家族、分譲マンション「プラウド」の居住者、PMO（プレミアム・ミッドサイズ・オフィス）のテナント企業が参加しています。



かやぶきの里プロジェクト

#### キャリア大学サマークラスに参加

野村不動産は、青少年のキャリア形成をサポートすることを目的として、「キャリア大学※サマークラス」に2014年度より参加しています。「サマークラス」では、大学1、2年生を対象に、「街をつくり、幸せをつくる」をテーマとした不動産開発事業体感ゲーム、現場見学などのプログラムを提供しており、不動産業界の仕事や社会人として働くという観点を学ぶことにより、学生が自身のキャリアを考えるきっかけとなっています。

※ 「キャリア大学」

NPO法人キャリアクルーズが主催する、大学生のキャリア形成をサポートする取り組み。趣旨に賛同する企業や省庁などが、それぞれの専門分野において教育講座を提供。

## ■ インターンシッププログラムの実施

野村不動産は、大学生・大学院生を対象に毎年インターンを受け入れており、2016年度は、東京と大阪で計5回のプログラムを実施し、延べ105名の学生が参加しました。

当プログラムは、インストラクターのサポートの下、建築設計提案や営業訪問の同行など、不動産業界の実務について学び、生の現場を体験する機会を提供しています。



インターンシッププログラム

## ■ 小学校児童向け着衣水泳教室の開催

野村不動産ライフ&サポートは、2010年より東京都八王子市内をはじめとする複数の地域の小学校児童を対象に、水難事故防止を目的とした「着衣水泳教室」を開催しています。2016年度は、977名の児童が参加しました。



着衣水泳教室

### 「着衣水泳教室」参加人数の推移

	2013	2014	2015	2016
参加人数（名）	1,100	1,250	480	977

## ■ 喘息児のための水泳指導を実施

野村不動産ライフ&サポートは、2014年度より名古屋市の依頼を受け、「メガロス千種店」で、喘息児のための水泳指導を行っています。2016年度は28名の児童が水泳を体験しました。

CSR | 社会貢献活動

## スポーツ支援を通じた社会貢献

### 障がい者スポーツ支援の取り組み

#### ■ 日本障がい者スポーツ協会（JPSA）オフィシャルパートナー

野村不動産ホールディングスは、「スポーツの価値を誰もが享受できる社会」に向け、「共生社会の創造」を目指すという日本障がい者スポーツ協会の理念に共感し、オフィシャルパートナー契約を締結しました。JPSAと共に、障がい者スポーツの普及・振興活動を通じ、パラアスリートと障がい者スポーツを応援しています。



野村不動産ホールディングスは  
JPSAのオフィシャルパートナーです。

📄 JPSAの詳しい活動についてはこちらをご覧ください

#### ■ パラアスリートの支援

野村不動産パートナーズは、車いす陸上競技の西 勇輝選手（東京アスリート認定選手）を採用し、活動支援を通じて、障がい者スポーツへの理解促進とパラアスリート支援を行っています。

また、野村不動産ライフ&スポーツは、次世代のパラアスリート育成に向けて2016年11月「パラアスリート育成における施設利用協定」を締結しました。この協定は、東京アスリート認定選手、日本ボッチャ協会強化指定および育成指定選手などに、「メガロス田端店」を練習場所として無償提供するものです。



西 勇輝選手



## スポーツ推進の取り組み

### 東京都スポーツ推進企業に認定

野村不動産パートナーズと野村不動産ライフ&スポーツは、平成28年度「東京都スポーツ推進企業」に認定されました。

「東京都スポーツ推進企業」とは、東京都が「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて「スポーツ都市東京」を実現するために推進する制度で、従業員の「スポーツの実践」や、スポーツ団体やアスリートへの「スポーツの支援」を行っている企業が認定されます。

当社グループでは、社員がスポーツに親しむだけでなく、全ての人々がスポーツをする社会の実現に向けて応援しています。

